

きみ じゅうぶん ちい
君は、十分小さい?



ボビーは、^{いま}今 5才。^{まいにち}毎日 ^{おお}大きくなってる。
だけど、^{じぶん}自分が ^{すごく}すごく
^{ちい}小さいって ^{かん}感じる ^{ひも}日も
あるんだ。

^{おとな}「大人だったら
いいのになあ。もっと
^{おお}大きかったら、^{たいせつ}大切な
ことがいろいろ
できるのに。」ボビーは
^{ごと}ひとり ^い言を言った。

ところがある夜、ボビーの ^{よる}家族は ^{かぞく}ちょっとした ^て手ちがいで、
^もかぎを ^で持って ^い出かけるのを ^{いえ}わすれて、^{そと}家の外に ^し閉め ^だ出されて
しまった。



ボビーの
^{とう}お父さんと
^{かあ}お母さんは、かぎの
かかっていない
ドアか まどがないか、
さがしたけれど、
どこも かぎが
かかっていたんだ。



やっとのことで ^{ちい}小さな
まどが ^あ開いたけれど、そんな
^{ちい}小さな まどからじゃあ、
^{とう}お父さんも ^{かあ}お母さんも
^{なか} ^{はい}中に入れない。



「ぼくなら、^{はい}入れるよ!」と
ボビーが ^い言った。

^{とう}お父さんは ボビーを
かかえ ^あ上げて、その
^{ちい}小さな まどから
^{なか} ^い中に入れた。



まもなく、ボビーは ^{いえ}家の ^{なか}中を ^{とお}通って ^{げんかん}玄関に ^い行き、^{とう}お父さんと
^{かあ}お母さんのために ^{なか}中から ^あかぎを開けた。



ボビーが ^{ちい}小さな まどを
^{とお}通りぬけられるくらい ^{ちい}小さくて、^よ良かったね。

どんなに ^{ちい}小さくても、イエス様は ^{さま}ほかの ^{ひと}人たちを
^{たす}助けるために、^{きみ}君を ^{つか}使う ^{こと}が
できるんだよ。一番 ^{ちい}小さな
^こ子どもだって、イエス様の ^{あい}愛を
^{ひと}ほかの人 ^{つた}に ^{てつだ}伝える ^お手伝いが
できるんだ。

^{せいしよ}聖書の ^{かんが}考え方 ^{かた}

^{ちい}小さい ^こ子どもが ^{みちび}それらを ^あ導く。
^{しんきょうどうやくせいしよ}(新共同訳聖書、イザヤ書 ^{しよ}11:6)

寄稿: デヴォン・T・ソマーズ、原作: 不明 絵: アルビ
デザイン: ステファン・ミーラー 出版: マイ・ワンダー・スタジオ
Copyright © 2013年、ファミリー・インターナショナル
"Are You Small Enough?"-Japanese
<http://www.mywonderstudio.com/0-5/2013/4/15/are-you-small-enough.html>

